

# ひっきゃでしゅい No.2

## 第2回北明小学校運営協議会（9月9日 水曜日）

9月に令和2年度第2回学校運営協議会を開催しました。協議会では、これまでの取組についての振り返りや、2学期以降の取組計画等について熱心な協議が行われました。

1学期の取組であった「町たんけん」では、訪問先で地域の方が子どもの学びに対して熱心に対応いただいていたこと、体験から多くのことを学び取っていたことが感想としてあげられました。「ひっきゃでしゅい」の精神が、地域の方々にも根付いていることを実感しました。子ども達はこの様な学びを通して自分たちが住む町のよさを感じ取ることができるのではないかという意見も聞かれました。自分の町に誇りを持ち、自分の町を愛す一歩になったのではないのでしょうか。

また、子ども達と話したり、質問を受けたりすることで、自分たちも新たな学びになる事もあるとの感想も聞かれました。まさに「地域とともに学び、ともに育つ」ことができている北明小の取組です。

## 5年生「おいしいお米を育てよう」（9月10日 木曜日）

実習田で米づくり体験をしている5年生。収穫までにはたくさんの手間をかけなければいけないことも学ぶために農薬散布の見学をしました。川崎富雄さんを中心に地域の方の協力でもヘリコプターによる農薬散布の様子を見て学びました。



## 6年生「レンコン掘り・料理体験」（9月17日 木曜日）

9月17日 JAしろいし様の主催で、JAしろいしの方、JA女性部の方、青年実業会、地域の方、学校運営協議会の方、江口由弘先生など、多くの方の支援をいただき、レンコン収穫、調理体験を行いました。大雨の予報でしたが、子ども達の願いが届き、雨がやみ、体験を楽しむことができました。例年のように、圃場までの安全指導を学校運営協議会の方にしていただきました。

地域の方々に見守られ、圃場の感触を楽しみながら、たくさんレンコンを収穫した子ども達。学校に帰ってからは、レンコンを使ったハンバーグ作りに挑戦。ふっくら焼けたハンバーグに舌鼓をうった子ども達でした。ご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。



## 5年生「稲刈り」（10月30日 金曜日）

江口由弘先生、学校運営協議会委員の皆様はじめ地域の方にお世話いただいたおかげで、イネは黄色く実り頭を垂れ、やっと収穫の時が来ました。

「米が実るには八十八の手をかけて育てる必要があるから『米』と書く」ことや「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉の意味を教してもらいながら自分たちが植えた稲の成長に嬉しそうな表情を見せる子ども達。鎌の使い方を教してもらい稲刈り開始。



手で握れるくらいでまとめ、足こぎ脱穀機とコンバインで脱穀しました。落ち穂を拾ったり、ワラを田んぼに広げたりして、無事に収穫を終えました。お世話いただいた地域の方々、実習田を快く貸して下さった地主様、本当にありがとうございました。



### ～地域とともに育つ 北明っ子～

6年生が、「北明小学校のよいところ」を考えました。その中に、地域の皆様に育てられていることを多くの子ども達書いていました。

○私達は、色々な場面でたくさん地域の方々を支えられています。これまでに、町探検、干潟体験、田植え、稲刈りやレンコン掘り、他にも毎日の登下校の見守りもして下さっています。地域の方々はどんな時も支えて下さってとても頼もしいです。

○北明小の子ども達は、地域の人となかよく活動していることが自慢です。地域の人と田植えや稲刈りなどたくさん体験をしています。登下校も、いつも地域の人に立ってもらっていて、地域の人との関係が深く、ともに育って支え合う素晴らしい地域だと思います。

○ぼくたちは、地域のみなさんに支えられながら成長しています。例えば、田植え、稲刈り、レンコン掘り、干潟体験、登下校時の見守りなど、たくさんの方の支えにより楽しく学校生活を送られています。これからも、地域のみなさんの支えをかりて、がんばっていきたいと思います。

**みなさんのおかげで誇れる北明小学校、北明校区になっていますね。**

地域の皆様、保護者の皆様、趣味や特技など子どもたちに伝えていただけませんか。お力をかしてください。ともに学び、ともに楽しんでいきたいです。